

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

山陽乳業株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県三原市南方一丁目2番1号

(3) 業種

処理牛乳・乳飲料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年（2017年度）を基準年度とし、令和6年（2024年度）から令和10年（2028年度）までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **製造量牛乳換算値(t)**

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成29年度 (2017)	令和10年度 (2028)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)
エネルギー 起源CO ₂	0.060	0.044	0.044				
		27.2	27.2	100.0	100.0	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.060	0.044	0.044				
		27.2	27.2	100.0	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.02750	0.01950	0.01757				
		29.1	36.1	100.0	100.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	本冷蔵庫庫内のプレハブ構造仕様に変更したことで、冷凍機の稼働が抑えられた。 小型ヨーグルト充填機稼働が安定した事で時間短縮につながり電気使用量を抑えた。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	2024年2月からの取り組み	本冷蔵庫内をプレハブパネル構造仕様に変更し冷却効果を高め冷凍機稼働を抑えた
2	電気使用量の削減	2024年2月からの取り組み	果汁の製造集約し、火、木曜日の製造を止めて電気使用量を抑えた
3	冷凍機に遮光ネット設置	2023年5月から取り組み継続	遮光ネット設置により3～5℃温度抑制
4	アイスビルダー350型に遮光ネット設置	2023年5月から取り組み継続	遮光ネット設置により3～5℃温度抑制

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。